

アスファルトマットによる導水路法面被覆工



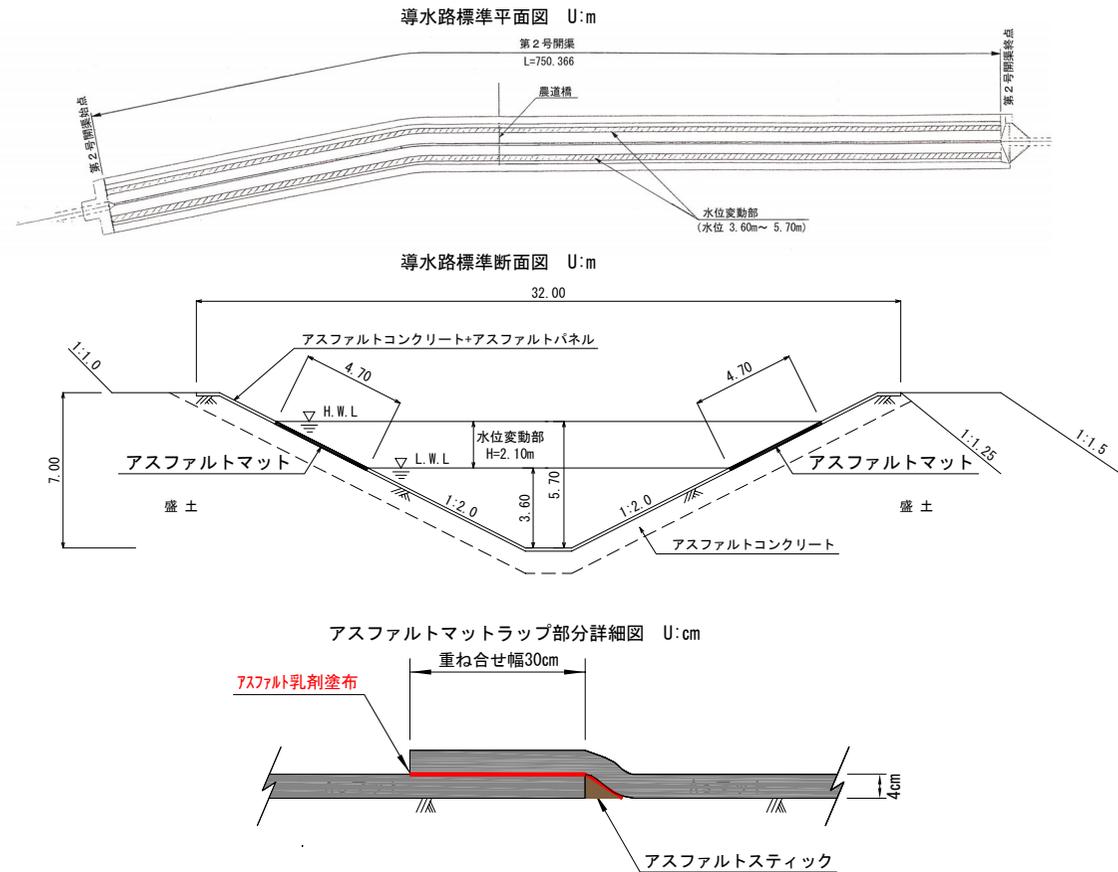
- 1. 工事名: 本別発電所導水路2号開渠補修工事
- 2. 発注者: 電源開発株式会社
- 3. 企業者: 株式会社J Pハイテック
- 4. 工期: 平成17年7月～平成17年11月
- 5. 工事数量: 製作数量 2.3m×4.7m×0.04m×756枚 ΣS=8,172.36m²
敷設面積 7,100m² (重ね合せ幅 0.3m)

6. 工事目的: 北海道の-30～+30℃という厳しい気候条件の下、当導水路法面には被覆材としてアスファルトマットが最も過酷な条件に当たる水位変動部に敷設されていた。30年以上経過したアスファルトマット法面保護の役割を十分に果たしていたが導水路上部のアスファルトコンクリートに損傷が多く見られたため補修を行ない、それを機にアスファルトマットも同時に敷設換えとなった。

7. 仕様: アスファルトマット配合

材料名	材料性状	標準配合	実施配合
アスファルト	混合アスファルト	10～14%	12.0%
ダスト	0.074mm以下	14～25%	22.5%
細骨材	0.074mm～2.5mm	30～50%	30.5%
粗骨材	2.5mm以上	25～40%	35.0%
計	—	—	100.0%

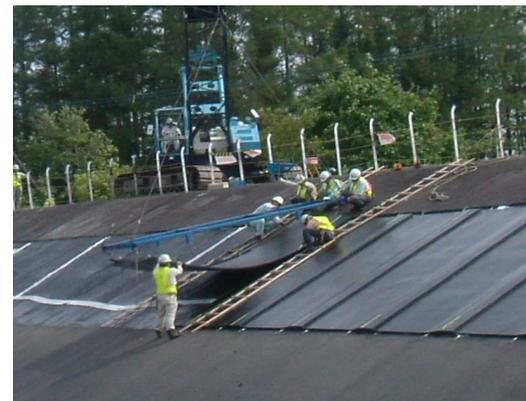
8. 特徴:
- ・不透水であるため遮水性に優れている
 - ・たわみ性に優れており、変形追随性能が高い
 - ・スロープフローの安定性が良い
 - ・比重が2.2以上あり、水流に対して安定性がある
 - ・凍結融解に対する抵抗力が高く、耐候性に優れている
 - ・プレキャスト部材で施工性に優れている



導水路補修工事前



アスファルトマット製作



アスファルトマット敷設



導水路補修工事後